

“発見”を“共有”して“交流”する発表会

3 / 8 土

10:00 - 11:30

石川県立図書館

だんだん広場

金沢のまちでがんとともに生きる人たちの“こえ”を、
金沢のまちで暮らす人たちに届ける…、
がん患者と家族が参画する金沢のまちづくりで生まれた
みんなの“発見”を、みんなで“共有”して、
みんなで“交流”する“発表会”。
どなたでも、出入り自由で、お気軽に参加いただけます。



令和6年度のキーワード“発見”を次につなげる！
令和7年度キーワード選手権を開催！
赤コーナー、青コーナー、黄コーナーの、どのことばか。
みなさんの審査で決まります（事前&当日）。



<< 事前投票はこちらから

<https://yokosocollege.com/wam20250308/>

※事前投票&当日投票で
「焙煎もち米グラノーラ」を進呈します！

スクラム

いしかわ

航海



金沢美術工芸大学大学院
川西佑佳さん
インスタレーション

みなさんから選んでいただいた
“ことば”が“かたち”になる瞬間を
その場、その時、そこにいる人たちが共有します。

元ちゃんハウス

がん患者とその家族が参画する金沢のまちづくり！
金沢がん共生まちづくり3.0交流会兼プレス発表会。



WAM助成

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉部助成事業

場
広
ん
だ
ん
石川
県立
図書館
石川県立図書館
（福井・独立図書館）で下車
石川県金沢市小立野
2丁目43番1号

R6
↓
R7

令和7年度の “ことば、を 選ぼう!

令和6年度は
発見

令和6年度の金沢がん共生まちづくり 3.0 は、【発見】にあふれた取り組みとなりました。金沢の街に暮らすがん患者とその家族が、もともと持っている経験や知識、能力、特技、希望などを活かすことで、地域の多様な場で活動に参加する“社会参加、につながることを【発見】しました。

活動の拠点である元ちゃんハウスは【発見】の日々でした。がん患者さんらにとって、病院や家、仕事など、もともと属しているコミュニティとは異なる“元ちゃんハウス、で過ごす時間自体が【発見】だったかもしれません。

“ようこそカレッジ、のプログラムを通じて、患者さんら自身が自分の持つ経験や知識、能力、特技、希望などを改めて【発見】することが社会参加につながりました。

これまで私たちは、元ちゃんハウスでの相談支援活動に力を入れて取り組んできました。個別の相談に対し、元ちゃんハウスに来てくださったがん患者さんやご家族には対応してきたつもりでした。でも、“社会参加、を切り口にしたときに、地域の団体とつながりを共に考えることで、まだまだできることがあることも私たちにとって新しい【発見】でした。そして私たちにとって最も大きな【発見】は、文化祭の場で活躍している患者さんらの姿でした。日頃元ちゃんハウスで接してきた患者さんらの姿とはまた違う姿を【発見】したのでした。

令和7年度は???



「スクラム」は、ラグビーで選手たちが肩を組んで力を合わせる動きのこと。がん患者さんやご家族、地域の団体や企業、そして私たちが肩を組み、一緒に前に進むという想いが込められています。誰もひとりぼっちにしない、みんなで支え合う「スクラム」を組んでいきましょう! 加えて、今年は県外で同じ志を持って場づくりしている団体と広くネットワークを構築し連携します。そんな素敵な仲間とも大きなスクラムを組みます!



来年度、私たちの取り組みは、金沢を飛び出して石川全体へ、そして新潟や京都、大阪など私たちとつながりのある全国のがん患者支援の団体みなさんに広がります!「いしかわ」と「かなざわ」全国的にはどちらが有名でしょうか?たぶん「かなざわ」なのではないでしょうか?今こそ、「いしかわ」に光を!「いしかわ」から、新しい「がん共生まちづくり」を発信していきましょう!



がんとともに生きることは、未知の海を進むようなものかもしれません。孤独な航海にならないよう、時には灯台になったり旅先案内人に姿を変えて並走してきました。そして来年度、私たちの船も「がん共生まちづくり」の未来に向けて航海をはじめます。県内外のいろいろなところへ寄港する予定です。お楽しみに!



元ちゃんハウス（がんとむきあう会）は金沢のまちに暮らすがん患者とその家族が、各自が持っている経験や知識、能力、特技、希望などを活かして、地域の多様な場で活動に参加したり、就労したりすることで活躍ができる…がんと共生する地域社会の構築を地域のみなさまと一緒に目指します。

がん患者とその家族が参画する金沢がん共生まちづくり 3.0

金沢のまちに暮らすがん患者とその家族が、各自が持っている経験や知識、能力、特技、希望などを活かして、地域の多様な場で活動に参加したり、就労したりすることで活躍ができる「社会参加」を広く推し進めることを目的に、がん患者とその家族と地域の団体や組織、企業が、それぞれが抱える課題やニーズを共有して、ともに考えながらアイデアを出していく常設の学びの場“ようこそ、カレッジ”を設けることで、それぞれのニーズのマッチングと実際のがん患者やその家族の活動参加や就労を生み出し、地域全体としてがんと共生できる金沢のまちづくりに取り組んでいく事業。

